



市議 幸野おさむ 042-324-0588



市議 中山ごう 042-323-9581



市議 岡部ひろあき 042-571-4647



2017年 3月5日

NO 1290号

発行：しんぶん国分寺社

電話 042-324-7337

(川合洋行宅)

党問 共産党の代表 日本

2017年3月市議会が開会しました。2月17日に井澤市長の施政方針演説が行われ、19日の日曜日には各党派の代表質問が行われました。日本共産党国分寺市議団からは幸野おさむ市議が質問に立ち、市長選挙前の代表質問ということもあり、多くの市民が傍聴しました。

幸野市議は「議会制民主主義」や「自治基本条例」「日本国憲法」を井澤市長が守らない問題に加え、「市民生活・社会保障・公共施設の充実」「環境とパリアフリー」の問題など、市民の願いに反する井澤市長の根本姿勢を質しました。

くらしと民主主義を守れ！

議会制民主主義と一元代表制を守れ！

はじめに幸野市議は、昨年の12月議会・一般質問で市長が答弁拒否をしていたことについて、「議会制民主主義と一元代表制が問われている。今後、答弁拒否をしないことを約束してほしい」と質問。

市長は「部長や副市長との意見は一致している。他の人間で答えられることは、他の人間で答えることにしている」と拒否しました。

幸野市議は「部長や副市長が全て答えられるなら、市議会に市長はいらないことになる」「気に入らない議員と会派に答えなくなってしまうば

議会制民主主義は成り立たない」と厳しく批判し、今後市議会でも追及していくことを表明しました。

総合ビジョンを、市民とともに策定を！

次に幸野市議は、市民の声をまともに聞かずに策定している「国分寺市総合ビジョン」から自治基本条例と日本国憲法の理念を削除していることを指摘し、「総合ビジョンは策定し直すべき」と求めました。(前々号参照)

市長は「日本国憲法と自治

9条の会 アピール 賛同者集会

安倍政権の下で、具体的な改憲の取り組みが進められています。また、南スーダンでは「戦闘地域」に自衛隊が派遣されるなど、なし崩しで「憲法9条」が壊憲されています。今こそ憲法9条の価値を学び拓きましょう！

講師：明日の自由を守る若手弁護士の会・久保田太一弁護士
日時：3月11日(土曜日) 14:00~
場所：労政会館
主催：国分寺9条の会
連絡先：増島まで 042-571-3365

自治基本条例と、日本国憲法に、もつづく市政を！
幸野市議は「自治基本条例も日本国憲法も守ると言っておきながら、言葉だけだということが明らかになった。平気で人権侵害をする市政は大問題だ」と厳しく批判しました。(裏面に続く)



民が決めることであり、最終的には住民投票を行うべき」と質問しました。

市長はこれまでの姿勢を転換し、「多くの方のご意見を聞いたうえで進めていく」と答弁しました。

国分寺まつり問題 早急に人権の回復を

幸野市議は「国分寺まつりの出店拒否問題」で「東京弁護士会から人権侵害だと言われている。人権侵害を早急に回復すべきだ」と迫りました。

市長は「いま、東京弁護士会からの要望書を検討している。これは実行委員会が検討するものだ」と答弁し、相変わらず無責任で、人権問題に無頓着な姿勢を続けています。

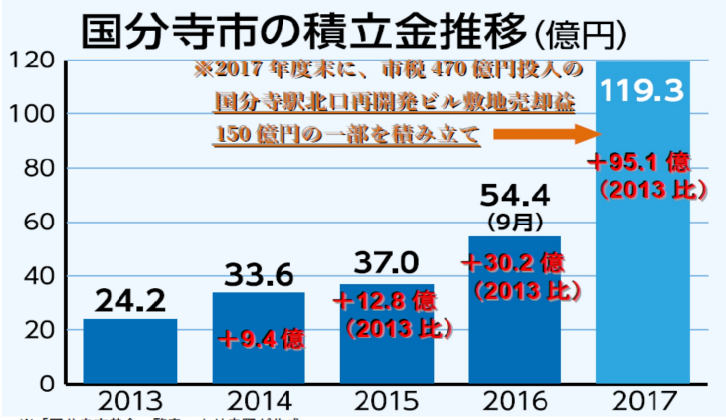
いぶき

「12万人市民の命と生活・財産を守る」「国分寺市自治基本条例を守る」「市議会との対話を大切に」「障がい者、高齢者の幸せを考える」「私の責任は健康で文化的な都市をつくること」

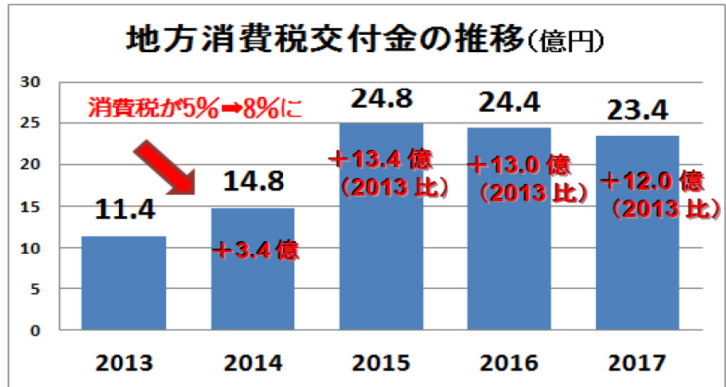
代表質問では、地方自治、地方政治の根幹の理念である『議会制民主主義』や『自治基本条例』『日本国憲法』という、行政権力が最も遵守しなければならない民主主義の基本を蔑ろにする井澤市長の本質が明らかになったと思います。また、実質賃金が伸び悩み、家計消費が著しく落ち込んでいくのに、アベノミクスを礼賛し、市民生活に心をよせない姿勢であることも浮き彫りになりました。「消費税は社会保障の目的税として上げるべき」と言っていたのに、消費税の財源を社会保障に使わず、大型開発のために積み立てています。「人口は減少する」と市の計画にうたいなながら「1年間で10000人増えている」「今後10年間は増加する見通し」と誇っているのも井澤市長です。安倍首相とともに政治家の信用に泥を塗っている井澤市長に今度こそ土をつけましょう！
12万人市民のための市長を担ぎ出して。 幸野 おさむ

「国分寺市の積立金の推移」及び
「地方消費税交付金の推移」

平成29年 第1回定例会
幸野議員作成
代表質問資料②



※「国分寺市基金一覧表」より幸野が作成



代表質問で幸野市議が使用したパネル

(表面のつづき)
消費税の財源や、北口再開発の財源を活用し 市民生活の充実を!
次に幸野市議は、市の積立金が増加している要因は、消費税が増税されたことと、国分寺駅北口再開発敷地の一部売却益が入ったことだと指摘しました。(左グラフ)

しかし、消費税は法律で社会保障に充てることが明記されているにもかかわらず、市民生活にかかわる予算が不十分になっていることについて、「子どもたちや、障がい者、高齢者の方々に心を寄せる予算になっていない」と批判し、「本気で待機児童を解消することや、本気で学童保育所を増設すること、老人保健施設や、特別養護老人ホーム、障害者のグループホームを増設すべき」と求めました。

市長は「将来を考えた財政運営をしていかなければならない立場で、そういうことは申し上げられない。財政規律を守らなければならない」と、積立金を市民生活や社会保障に充ててことを拒否しました。

人口の増加に対応して 必要な公共施設の整備を

また、市内の人口が増加する中で、学校の教室不足等が深刻になっていますが、幸野市議は、「人口は減少するから公共施設は統廃合する」という市の計画を改め、学校の教室や子育て支援施設、高齢者・障害者施設、スポーツ施設、公園など人口の増加に合わせて増やしていく計画に見直すべき」と求めました。

子育て支援に財源を

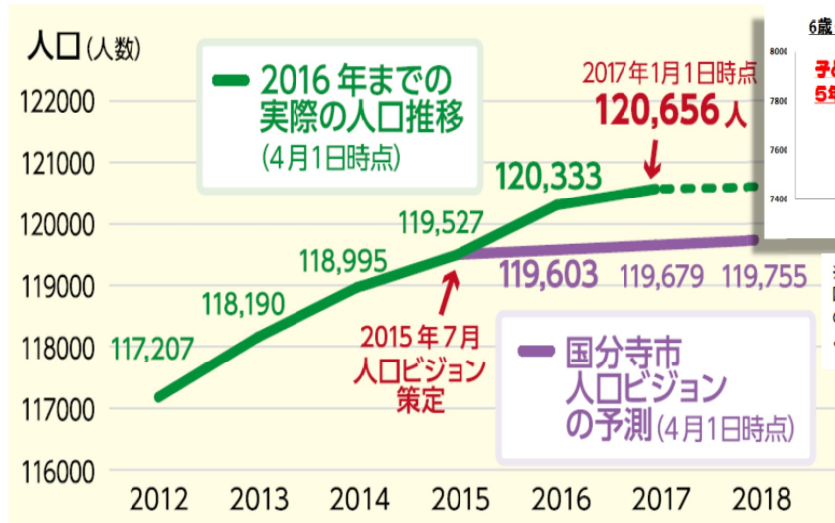
そして幸野市議は「子育て支援として、子どもの医療費を18歳まで無料化するの約1億円でできる。市長が廃止した低所得世帯の高校生への奨学金制度復活は1400万円できる。就学援助制度の対象者を元に戻すのも約1000万円できる。消費税はこういうことにこそ使うべきだ」と求めました。

環境とバリアフリーを重視したまちづくりへ!

まちづくりの問題では、幸野市議は「21世紀は環境の世紀と政府も言っているが、国分寺市は『環境部』を『建設環境部』と『まちづくり部』に再編してしまっ

「人口ビジョンと実際の人口数のかい離」及び、関連する「市長の発言」

平成29年 第1回定例会
幸野議員作成
代表質問資料③



※参考 国分寺市教育委員会推計「小・中学校の児童・生徒数及び学級数の一覧表」より幸野が作成



※「国分寺市人口ビジョン」及び「国分寺市の人口」より幸野が作成

そして「バリアフリーのまちづくりを進めるために、西国分寺駅の東口や恋ヶ窪駅の東口の開設を」と求めました。

市長を変えるしかない

最後に幸野市議は「井澤市長は残念ながら、市民目線ではない。自治基本条例も日本国憲法も守らない。市民の暮らしも顧みない。やはり転換するしかない」と強調して質問を終えました。



国分寺市では1年間に1,000人も人口が増えています。

※「市長のあいさつ」より幸野が作成

| 人口増加に伴って、不足している公共(的)施設 |
|----------------------------|
| 保育園、幼稚園、学童保育所 |
| 学校の教室(普通教室・特別教室・特別支援教室) |
| 障がい者施設(グループホーム、就労支援施設等) |
| 高齢者施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設等) |
| スポーツ施設(サッカーコート、プール、屋内運動場等) |
| 公園施設(プレイステーション、都市計画公園等) |
| 自転車駐輪場、公民館、地域センター等 |

代表質問で幸野市議が使用したパネル